

平成28年度

第4回草津市立認定こども園園名等選定委員会 会議録

■日時：

平成28年11月25日（金）10時00分～11時30分

■場所：

草津市役所 502会議室

■出席委員：

青木委員長、田中副委員長、青山委員、上野委員、橋田委員、濱田委員、前田委員

■欠席委員：

米村委員

■関係人：

草津保育所 松田所長

■事務局：

子ども子育て推進室 高岡室長、川那邊副参事、西川主査、大岡主任
幼児課 金森課長

■傍聴者：

0名

1. 開会

2. 報告

(1) (仮称) 草津中央認定こども園整備事業の施行不良の対応と今後の予定について

【事務局】

<資料1について説明>

3. 議事

(1) 園章、園歌（歌詞）の選定方法について

【事務局】

<資料2について説明>

【委員長】

事務局より説明のあった選定要領に基づき、園章、園歌（歌詞）を選定してよろしいか。

～一同承認～

【委員長】

では、選定方法については、選定要領のとおりとする。

(2) (仮称) 草津中央おひさまこども園の園章について

【事務局】

<資料3について説明>

～各委員の投票結果を取りまとめ、事務局にて集計～

●集計結果発表

1位 No. 23

2位 No. 69

3位 No. 3

4位 No. 1

4位 No. 19

4位 No. 64

【A委員】

私は、子どもたちが見て、すぐにわかるもの、また、子どもたちが園章を自分たちで書けるぐらいわかりやすいもの、チューリップの中がごちゃごちゃしていないものを選んだ。

【B委員】

園章であるので、シンプル イズ ベストで、チューリップの中に何が書いているかが明確であり、子どもが小さいので、あまり暗いものでない方がいいのではないかと、また、ごちゃごちゃしていないものがよいのではないかと思った。ただ、園章の使用例を見て、このように飾られると考えると、あまりイラスト的なものでない方が、公共施設、教育施設にはふさわしいのではないかと思った。

【C委員】

園章は旗にしたり、園の玄関につけたり、そのような使い方をするので、あくまでゆるキャラみたいになるのは、まずいのではないかと。応募作品で、目があって鼻があって笑っているデザインのものもあるが、これは、ゆるキャラならよいが、やはり、旗にするなどして使うのであれば、顔をデザインした園章は省いた方がよいのではないかと思い、選ばなかった。また、「中央」や「こども」の文字が入ったデザインの方が、使いやすいのではないかと思い、そのようなものを選んだ。

【D委員】

チューリップの外枠を活かして、なるべくシンプルなものの方がよいと思った。また、「おひさまこども園」の名前がついたので、おひさまのような明るく楽しいイメージのものがよいのではないかと思い選んだ。

【E委員】

シンボリックかつ、斬新さとおもしろさと、旗になることを考え選んだ。シンプルなものもよいが、

デザイン性も重視して選んだ。

【F 委員】

私も、シンプルなものの方がよいと思った。23番のチューリップの中のデザインは、市の他のシンボルマークに同じようなものがある。

【事務局】

候補作品が絞られたら、次回、類似作品等の情報は、資料として提供したいと考えている。

【委員長】

ただいまの意見も踏まえ、委員会としての候補をまとめていきたいと思う。旗や園の玄関に使われることを想定して、一度、遠くからひいて見たらどうか。大人と子どもの視線の位置は違うので、子どもがその園章を見上げたときにどんな風に見えるのかということも考えて、選んでいきたいと思う。

また、どうしても、図案的なものより、キャラクター的なものの方が子ども向きと誤ってしまいがちだが、シンボリックなもの、イラスト的なもの、それらの観点を選定の際に考えていただきたいと思う。

【事務局】

選定要領の内容から、基本的には1位から4位までの6作品は、候補として確定であり、追加で、特に意見のある作品を入れるかどうかということで進めていただきたいと思う。

【委員長】

園名案候補として、現在1位から4位までの、6作品は確定し、その他、どうしてもこれはというものがあれば、検討していきたいと思う。追加する作品について、意見をいただきたい。

【事務局】

昨年度の意見として、順位は上位ではないが、投票者数が多かった案も候補としてあがっていたりした。

【委員長】

この上位6作品でいくということもよいが、ここから幅を持たせて、追加の候補作品をあげてもよいと思うが、どうするか。

【E 委員】

幅を持たせるべきだと思う。同じようなデザインのものは、省いたほうがよいのではないか。イラスト的なもの、シンボリックなもの、それぞれを残してはどうか。

【委員長】

それでは、投票者数や、イラスト的なもの、シンボリックなものを考慮し、上位6作品に、46番と2番を追加し、候補作品とすることでどうか。

～一同 承認～

【委員長】

では、(仮称)草津中央おひさまこども園の園章候補については、これらの8作品とする。

●候補作品

No. 1

No. 2

No. 3
No. 19
No. 23
No. 46
No. 64
No. 69

(3) (仮称) 草津中央おひさまこども園の園歌 (歌詞) について

【委員長】

園歌は市外からの応募が43件ということだが、市外のうち、滋賀県外の方はどの程度いるのか。

【事務局】

市外のうち、半数以上が滋賀県外の方からの応募であった。

～各委員の投票結果を取りまとめ、事務局にて集計～

●集計結果発表

1位 No. 3
1位 No. 39
3位 No. 1
3位 No. 26
5位 No. 38

【委員長】

まず始めに、参考に矢橋ふたばこども園の園歌をお聞きいただきたい。

～矢橋ふたばこども園園歌の視聴～

【F委員】

園名がおひさまなので、「たいよう」や「あかるい」、「かがやき」、「きらきら」などの歌詞が入っている作品が多いが、特に、「草津」をイメージさせるような歌詞、「しゅくばまち」や「びわこ」などが入った作品よいと思い選んだ。

【E委員】

園歌を園児が歌うためには、先生が教えることになるので、先生が教えやすいものがよいと思った。簡単だけれども、その歌詞の意味をしっかりと園児に教えられるような作品がよいのではないかと思った。

【D委員】

子どもが歌いやすいもの、歌っていてあたたかいなと思える作品がよいと思った。おひさまこども園なので、おひさまのもとで笑顔の絶えない子どもたちの成長を感じられる歌詞がいいと思い選んだ。

【C委員】

地域の「くさつ」や「びわこ」、「ひえい」などの歌詞が入った作品がよいと思った。また、園歌と園章はつながっていた方がよいのではないかと思ったので、「チューリップ」や「たいよう」などを用いた作品も選んだ。

【B委員】

こども園の園歌ということで、2歳児くらいから園歌が歌われることを考えると、年齢層にふさわしい歌詞がよいと思った。「おはようさん」や、「なかよしこよし」という歌詞は、普段使われていない言葉ではないか。これから20年、30年先も使われていく園歌で、あまり使われていない言葉を入れるのはふさわしくないのではと思う。今、新しく感じるものでも、20年先には、古いものになってくるので、そのあたりを見込んで選ぶべきである。また、地域の歴史を感じる歌詞は入っていた方が、どこか園かわかりやすいので、よいのではないかと思った。

【A委員】

子どもが歌いやすく、わかりやすいものがよいと思った。また、園章のチューリップに込められた思い、『あか・しろ・きいろ どの花みてもきれいだな』のように、一人ひとりの個性を大切にしたい教育を進めていくという思いを含んだような作品を選んだ。

【委員長】

「べんきょう」というような、学習をイメージさせる歌詞が入ったものがあつたが、それはあまりふさわしくないのではないかと思った。また、地元の「ひさらん」、「ひえい」という歌詞、地域に関するものは、皆さんの感覚として、草津にふさわしいと感じられるか伺いたい。

【E委員】

私は「ひえい」という歌詞にすごくひっかかった。

【B委員】

「ひえいざん」は見えるが、「ひらさん」は少し遠いので、ふさわしくないのではないか。

【委員長】

このような地域に関する歌詞の整合性についても、考えて選定していただきたいと思う。

【委員長】

それでは、候補案について、まとめたいと思う。投票結果より、上位5作品に、投票者数が3名であるNo. 45、No. 11を追加し、候補作品とすることよろしいか。

～一同 承認～

【委員長】

では、(仮称)草津中央おひさまこども園の園歌候補については、これらの7作品とする。

●候補作品

No. 1

No. 3

No. 11

No. 26

No. 38

No. 39

【委員長】

では、本日選定した候補の中から、次回、最優秀賞、優秀賞を決定したいと思う。次回までに約3週間程度あるので、熟慮いただきたい。

4. 閉会

【高岡室長】

様々なご意見をありがとうございました。本日審議いただきました内容を踏まえ、次回の第5回委員会で正式に決定したいと思います。また、今回の候補作品については、著作権の問題もあり、コピー配布等はできませんが、各関係団体の中で見ていただくことは可能ですので、第5回の資料として早めにお送りさせていただきます。なお、今回は事前にお知らせしておりますとおり、12月20日（火）午前10時から、市役所2階 特大会議室（ステージ側）にて開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中とは存じますが、ご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。